

## 平成18年 3月期 個別財務諸表の概要

平成18年 5月16日

上 場 会 社 名 国際石油開発帝石ホールディングス株式会社 上 場 取 引 所 東京証券取引所

(国際石油開発株式会社分)

コード番号 1605

本社所在都道府県 東京都

(URL http://www.inpexhd.co.jp/)

表 者 代表取締役社長

黒田 直樹

問 合 せ 責 任 者 広報・IRユニットジェネラルマネージャー 宮本 修平 TEL (03)5448-0205

決算取締役会開催日 平成18年 5月16日 中間配当制度の有無 有

配当支払開始予定日 平成18年 6月28日 定時株主総会開催日 平成18年 6月27日

単元株制度採用の有無 無

平成18年 3月期の業績(平成17年 4月 1日~平成18年 3月31日)

(1) 経営成績

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	売	间	営 業 利	· 益	経常和	引 益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年 3月期	258, 154	27. 3	160, 960	41.7	159, 385	41.6
17年 3月期	202, 729	20. 5	113, 556	22.6	112, 584	47.7

	当期純利益		1株当たり当期純利益	株当たり当期純利益 潜在株式調整 後1株当たり 当期純利益		総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万	円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
18年 3月期	69, 927	37.7	36, 372. 85	_	17. 2	35.8	61. 7
17年 3月期	50, 765	79. 1	26, 717. 47		15. 7	31. 3	55. 5

(注) ① 期中平均株式数

18年 3月期 1,919,832株

17年 3月期 1,896,412株

② 会計処理の方法の変更

③ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率であります。

## (2) 配当状況

	1 株	当たり年間配	2当金	配当金総額	配当性向	株主資本配当率
		中間	期末	(年間)	田二十二円	体工具本癿ヨギ
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
18年 3月 期	5, 500. 00	0.00	5, 500. 00	10, 559	15. 1	2.4
17年 3月 期	4, 000. 00	0.00	4, 000. 00	7, 679	15. 0	2. 0

#### (3) 財政 狀能

#### (注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

(0) //1/2/1/10					11	14 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	H ( 1201 O (110 ) O( ) O		
	総	資	産	株	主	資	本	株主資本比率	1株当たり株主資本
			百万円				百万円	%	円 銭
18年 3月 期		472	2, 686			437,	478	92.6	227, 822. 09
17年 3月 期		417	7,978			377,	222	90. 2	196, 436. 16

(注) ① 期末発行済株式数 ② 期末自己株式数

18年 3月期 1,919,832株 18年 3月期 -株

17年 3月期

17年 3月期 1,919,832株 1株

期中平均株式数(自己株式控除後のものです。)

	17年3月期	18年3月期
普通株式	1,896,412株	1,919,831株
普通株式と同等の株式:甲種類株式	0株	1株

#### 期末発行済株式数(自己株式控除後のものです。)

799719211 VI PIC 130 (11 12 PIC 12 PIC 13 PI	- 7 0 7	
	17年3月期	18年3月期
普通株式	1,919,831株	1,919,831株
普通株式と同等の株式:甲種類株式	1株	1株

(注) 甲種類株式は利益配当請求権及び残余財産分配請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株 式としております。

当期における発行済株式数の増減内容は以下のとおりであります。

自己株式の消却

(1)消却株式数

1.44株

(平成18年3月31日)

(2)取得価額の総額

1百万円

# V. 個別財務諸表等

- (1) 財務諸表
  - ① 貸借対照表

		前事業年度 (平成17年3月31	日)	当事業年度 (平成18年3月31	. 目)	対前年比
区分	注記 番号	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	増減 (百万円)
(資産の部)						
I 流動資産						
1 現金及び預金	<b>※</b> 3	24, 802		29, 556		
2 売掛金		15, 207		11,622		
3 有価証券		18, 391		14, 530		
4 前払費用		77		81		
5 繰延税金資産		11		20		
6 未収入金		308		322		
7 関係会社短期貸付金		15, 692		5, 961		
8 その他		232		783		
流動資産合計		74, 722	17.9	62, 878	13. 3	△11,844
Ⅱ 固定資産						
1 有形固定資産	<b>※</b> 1					
(1) 建物		5, 436		5, 170		
(2) 構築物		69		63		
(3) 機械及び装置		0		0		
(4) 車両運搬具		27		19		
(5) 器具備品		104		102		
(6) 土地		4, 001		4,001		
(7) 建設仮勘定		_		87		
有形固定資産合計		9, 640	2.3	9, 444	2.0	△195
2 無形固定資産						
(1) ソフトウェア		30		152		
(2) その他		5		4		
無形固定資産合計		35	0.0	156	0.0	121

		前事業年度 (平成17年3月31日)				当事業年度 (平成18年3月31日)		
区分	注記 番号	金額(百万円)		構成比 (%)	金額(百万円)		構成比 (%)	増減 (百万円)
3 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券			84, 179			133, 788		
(2) 関係会社株式			225, 111			242, 629		
(3) 出資金			0			0		
(4) 関係会社出資金			194			194		
(5) 長期貸付金			44			41		
(6) 従業員に対する 長期貸付金			2			1		
(7) 関係会社長期貸付金			17, 217			19, 990		
(8) 長期未収入金			_			3, 353		
(9) 長期前払費用			36			18		
(10) 繰延税金資産			53			59		
(11) 差入保証金			60			58		
(12) 生産物回収勘定			81, 918			92, 369		
(13) その他			6, 491			1, 961		
貸倒引当金			△631			△3, 223		
探鉱投資等引当金			△81, 100			△91, 037		
投資その他の資産合計			333, 579	79.8		400, 207	84. 7	66, 627
固定資産合計			343, 255	82. 1		409, 808	86. 7	66, 553
資産合計			417, 978	100.0		472, 686	100.0	54, 708

		( 되	前事業年度 平成17年3月3		(平	当事業年度 成18年3月3		対前年比
区分	注記 番号	金額	[(百万円)	構成比 (%)	金額	(百万円)	構成比 (%)	増減 (百万円)
(負債の部)								
I 流動負債								
1 未払金			4, 706			2, 585		
2 未払法人税等			12, 608			13, 831		
3 未払費用			480			539		
4 前受金			4, 587			1, 972		
5 預り金			84			43		
流動負債合計			22, 467	5. 4		18, 972	4.0	$\triangle 3,495$
Ⅱ 固定負債								
1 長期借入金	<b>※</b> 3		10, 741			_		
2 退職給付引当金			870			1, 025		
3 役員退職慰労引当金			409			481		
4 長期未払金			6, 205			14, 708		
5 その他			62			21		
固定負債合計			18, 288	4. 4		16, 236	3. 4	△2, 052
負債合計			40, 755	9.8		35, 208	7. 4	△5, 547
(資本の部)								
I 資本金	<b>※</b> 2		29, 460	7. 0		29, 460	6. 2	-
Ⅱ 資本剰余金								
1 資本準備金			62, 402	14. 9		62, 402	13. 2	-
Ⅲ 利益剰余金								
1 利益準備金			7, 365			7, 365		
2 任意積立金								
海外投資等損失準備金			491			1, 233		
配当準備積立金			1, 500			1, 500		
為替変動積立金			1,000			1,000		
別途積立金			222, 718			259, 718		
3 当期未処分利益			51, 921			76, 329		
利益剰余金合計			284, 996	68. 2		347, 146	73. 5	62, 149
IV その他有価証券評価差額金			363	0. 1		△1,530	△0.3	△1,894
V 自己株式	<b>※</b> 4		△0	△0.0		_		0
資本合計			377, 222	90. 2		437, 478	92. 6	60, 255
負債及び資本合計			417, 978	100.0		472, 686	100.0	54, 708
					<u> </u>			

# ② 損益計算書

		前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)			(自 平				
区分	注記 番号	金額(	百万円)	百分比 (%)	金額(百	百万円)	百分比 (%)	増減 (百万円)	
I 売上高			202, 729	100.0		258, 154	100.0	55, 424	
Ⅱ 売上原価			83, 980	41. 4		92, 131	35. 7	8, 151	
売上総利益			118, 749	58. 6		166, 022	64. 3	47, 273	
Ⅲ 販売費及び一般管理費	<b>※</b> 1								
1 販売費		345			376				
2 一般管理費	<b>※</b> 2	4, 848	5, 193	2. 6	4, 685	5, 062	2.0	△130	
営業利益			113, 556	56. 0		160, 960	62. 3	47, 404	
IV 営業外収益	<b>※</b> 3								
1 受取利息		390			1, 466				
2 有価証券利息		256			399				
3 受取配当金		4, 755			4, 933				
4 受取保証料		803			936				
5 為替差益		_			3, 473				
6 その他		222	6, 427	3. 1	300	11, 511	4. 5	5, 083	
V 営業外費用									
1 支払利息		205			422				
2 探鉱投資等引当金繰入額		4, 595			9, 948				
3 為替差損		1, 929			_				
4 貸倒引当金繰入額		_			2, 591				
5 その他		669	7, 399	3. 6	124	13, 085	5. 1	5, 686	
経常利益			112, 584	55. 5		159, 385	61. 7	46, 801	
税引前当期純利益			112, 584	55. 5		159, 385	61. 7	46, 801	
法人税及び住民税		61, 666			89, 413				
法人税等調整額		152	61, 819	30. 5	44	89, 458	34. 6	27, 639	
当期純利益			50, 765	25. 0		69, 927	27. 1	19, 162	
前期繰越利益			1, 156			6, 403		5, 246	
自己株式消却額						1		1	
当期未処分利益			51, 921			76, 329		24, 408	

## ③ 利益処分案

			「業年度 年6月22日)		事業年度 8年6月27日)	対前年比
区分	注記 番号	金額	(百万円)	金額	増減 (百万円)	
I 当期未処分利益			51, 921		76, 329	24, 408
合計			51, 921		76, 329	24, 408
Ⅱ 利益処分額						
1 配当金		7, 679		10, 559		
2 役員賞与金		98		98		
(うち監査役賞与金)		(5)		(5)		
3 任意積立金						
海外投資等損失準備金		741		800		
別途積立金		37, 000	45, 518	40,000	51, 457	5, 938
Ⅲ 次期繰越利益			6, 403		24, 872	18, 469

<sup>(</sup>注) 日付は、株主総会承認日及びその予定日であります。

1株あたり配当金の内訳

100000 1 出口 亚约 100										
		前事業年度		当事業年度						
	年間	中間	期末	年間	中間	期末				
	円銭	円 銭	円銭	円 銭	円 銭	円 銭				
普通株式	4, 000. 00	0.00	4, 000. 00	5, 500. 00	0.00	5, 500. 00				

	項目	前事業年度 (自 平成16年4月1日	当事業年度 (自 平成17年4月1日
	AH	至 平成17年3月31日)	至 平成18年3月31日)
1	有価証券の評価基準及び 評価方法	①子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法	①子会社株式及び関連会社株式 同左
		②その他有価証券 a 時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は、主として全部資本直入 法により処理し、売却原価は、移動 平均法により算定)	②その他有価証券 a 時価のあるもの 同左
2	固定資産の減価償却の方 法	b 時価のないもの 移動平均法による原価法 (1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、	<ul><li>b 時価のないもの</li><li>同左</li><li>(1) 有形固定資産</li><li>同左</li></ul>
	<b></b>	平成10年4月1日以降に取得した建物 (附属設備を除く)については、定額法 を採用しております。なお、耐用年数 及び残存価額については、法人税法に 規定する方法と同一の基準によってお ります。	刊在
3	繰延資産の処理方法	(2) 無形固定資産 定額法を採用しております。耐用年数 及び残存価額については、法人税法に 規定する方法と同一の基準によってお ります。なお、自社利用のソフトウェ アについては、社内における利用可能 期間(5年)に基づいております。 支出時に全額費用としております。	(2) 無形固定資産 同左
4	引当金の計上基準	(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権につ	(1) 貸倒引当金 同左
		いては個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。 (2)探鉱投資等引当金 資源探鉱投資法人等の株式等に対する 損失に備えるため、投資先各社の資産 状態を検討のうえ計上しております。	(2) 探鉱投資等引当金 同左
		(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期 末における退職給付債務に基づき、当 期末において発生している額を計上し ております。なお、当社は小規模企業 に該当するため退職給付債務の計算は 簡便法(自己都合要支給額)によってお ります。	(3) 退職給付引当金 同左

項目	前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
4 引当金の計上基準	(4) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上 しております。	(4) 役員退職慰労引当金 同左
5 外貨建の資産及び負債の 本邦通貨への換算基準	外貨建金銭債権債務は、期末日の直物 為替相場により円貨に換算し、換算差 額は損益として処理しております。	同左
6 その他財務諸表作成のための重要な事項	(1)消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。 (2)生産物回収勘定の会計処理 生産分与契約に基づき投下した作業費を計上しております。生産開始後、同契約に基づき生産物(原油及び天然ガス)をもって投下作業費を回収しております。 当期より、科目の重要性及び特殊性に鑑み、追加情報として説明を付しております。	(1)消費税等の会計処理 同左 (2)生産物回収勘定の会計処理 生産分与契約に基づき投下した作業費 を計上しております。生産開始後、同 契約に基づき生産物(原油及び天然ガス)をもって投下作業費を回収してお ります。

## 会計処理の変更

云計処理の変更	
前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
	(固定資産の減損に係る会計基準) 当期から「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定 資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」 (企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産 の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委 員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6
	号))を適用しております。 これによる損益に与える影響はありません。

## 表示方法の変更

公立の意义	<del>,</del>
前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
(貸借対照表) 「証券取引法等の一部を改正する法律」(平成16年法律第97号)により、証券取引法第2条第2項において、投資事業有限責任組合及びこれに類する組合への出資を有価証券とみなすこととされたことに伴い、前事業年度まで投資その他の資産の「出資金」に含めていたリミテッド・パートナーシップへの出資金を、当事業年度より「投資有価証券」に計上しております。この変更により、「投資有価証券」は863百万円増加し、投資その他の資産の「出資金」は同額減少しております。	
	(損益計算書) 前事業年度まで営業外費用の「その他」に含めており ました「貸倒引当金繰入額」は重要性が増したため、 当事業年度において区分掲記しました。 なお、前事業年度における「貸倒引当金繰入額」の金 額は414百万円であります。

## 注記事項

## (貸借対照表関係)

前事業年度 (平成17年3月31日)		当事業年度 (平成18年 3 月31日)			
※1 減価償却累計額		<b>※</b> 1	減価償却累計額		
7	有形固定資産の減価償却累計額は、	3.070百万円で		育形固定資産の減価償却累計額は、	3.342百万円で
	あります。	,		あります。	,,
<b>※</b> 2			<b>※</b> 2	授権株数等	
7	会社が発行する株式の総数		741 -	会社が発行する株式の総数	
		356,800株		普通株式 2,350	6, 798. 56株
	甲種類株式	1株		甲種類株式	1.00株
	発行済株式の総数	2 2 2 5 Lill		発行済株式の総数	2 224 24 144
	普通株式 1,919 甲種類株式	), 832. 75株 1. 00株		普通株式 1,919 甲種類株式	9, 831. 31休 1. 00株
<b>※</b> 3	担保資産		<b>※</b> 3	担保資産	
	長期借入金8,592百万円及び保証値	責務92,465百万		保証債務101,733百万円の担保に係	共しているもの
	円の担保に供しているものは、め	てのとおりであ		は、次のとおりであります。	
	ります。			現金及び預金	9,400百万円
	現金及び預金	8,200百万円			
<b>※</b> 4	自己株式の保有数		<b>※</b> 4		
	普通株式	1株			
5	偶発債務		5	偶発債務	
	下記の会社の銀行借入等に対し、債務	<b>务保証を行って</b>	-	下記の会社の銀行借入等に対し、債	務保証を行って
	おります。		‡	らります。	
		百万円			百万円
	インペックス南西カスピ海石油㈱	69, 358		インペックス南西カスピ海石油㈱	74, 416
	ナトゥナ石油㈱	17, 937		インペックストレーディング㈱	24, 449
	JJI S&N B.V.	3, 757		ナトゥナ石油㈱	10, 572
	サハリン石油ガス開発㈱	3, 746		インペックス北カスピ海石油㈱	11,001
	INPEX BTC Pipeline, Ltd. 🔆	3,061		サハリン石油ガス開発㈱	6, 979
	ALBACORA JAPAO PETROLEO LIMITADA	2,858		INPEX BTC Pipeline, Ltd. 💥	3, 656
	インペックスエービーケー	295		ALBACORA JAPAO PETROLEO LIMITADA	2, 343
	石油(株)			インペックスエービーケー	193
	合計 WINDEX PTG P: 1: Lt L の字下	101,014		石油(株)	
	※INPEX BTC Pipeline, Ltd. の完工作保証であります。	未証に対する冉	>	合計 *INDEX DTC D:==1:== 1+1 の今下	133,613
	M. M. C は J. ソ み y o			終INPEX BTC Pipeline, Ltd.の完工∙ 呆証であります。	体証に刈りる丹
6	配当制限		6	<b>不皿                                    </b>	
	商法施行規則第124条第3号に規定す	ス全類け 716	0		
	百万円であります。	の不的は、110			

## (損益計算書関係)

前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)		当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)			
<b>※</b> 1	販売費及び一般管理費の主要な	費目及び金額の内	<b>※</b> 1	販売費及び一般管理費の主要な	費目及び金額の内
	訳は、次のとおりであります。			訳は、次のとおりであります。	
		百万円			百万円
	役員報酬	245		役員報酬	271
	社員給与及び賞与	2, 682		社員給与及び賞与	3, 025
	法定負担金及び福利費	346		法定負担金及び福利費	375
	役員退職慰労引当金繰入額	96		役員退職慰労引当金繰入額	106
	退職給付引当金繰入額	112		退職給付引当金繰入額	162
	弁護士費用	360		社外諸報酬	1, 191
	図書印刷費	295		旅費交通費	304
	減価償却費	337		支払手数料	277
	他勘定振替管理費	△1,884		減価償却費	318
				他勘定振替管理費	$\triangle 2,431$
<b>※</b> 2	一般管理費に含まれる研究開発	費	<b>※</b> 2	一般管理費に含まれる研究開発	費
		53百万円			50百万円
<b>※</b> 3	※3 関係会社との取引により発生した営業外収益は、		<b>※</b> 3	関係会社との取引により発生し	た営業外収益は、
	次のとおりであります。			次のとおりであります。	
	受取配当金	4,611百万円		受取配当金	4,641百万円
	受取保証料	779百万円		受取利息	1,029百万円
				受取保証料	886百万円

(リース取引関係)

前事業年度(平成17年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(平成18年3月31日)

該当事項はありません。

(有価証券関係)

前事業年度(平成17年3月31日)

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

当事業年度(平成18年3月31日)

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

前事業年度		当事業年度		
(平成17年3月31日 1 繰延税金資産及び繰延税金負債の		(平成18年3月31日) 1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別		
の内訳		の内訳	プ光生の土は赤凸が	
繰延税金資産		繰延税金資産		
探鉱投資等引当金	30,795百万円	探鉱投資等引当金	34,394百万円	
土地評価損	4,543百万円	土地評価損	4,543百万円	
未払金否認額	3,425百万円	未払金否認額	5,380百万円	
投資有価証券評価損否認額	193百万円	投資有価証券評価損否認額	193百万円	
退職給付引当金・役員退職慰労引当金損金算入限度超過額	451百万円	その他有価証券評価差額 退職給付引当金・役員退職慰労	576百万円	
その他	682百万円	引当金損金算入限度超過額	545百万円	
繰延税金資産小計	40,092百万円	貸倒引当金否認	1,167百万円	
評価性引当額	△38,521百万円	その他	558百万円	
繰延税金資産合計	1,571百万円	繰延税金資産小計	47,359百万円	
繰延税金負債		評価性引当額	△45,438百万円	
その他有価証券評価差額	10百万円	繰延税金資産合計	1,920百万円	
海外投資等損失準備金	1,494百万円	繰延税金負債		
その他	1百万円	海外投資等損失準備金	1,840百万円	
繰延税金負債合計	1,506百万円	その他	0百万円	
繰延税金資産の純額	65百万円	繰延税金負債合計	1,841百万円	
		繰延税金資産の純額	79百万円	
2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担		2 法定実効税率と税効果会計適用役	後の法人税等の負担	
率との間に重要な差異があると	きの、当該差異の原	率との間に重要な差異があるとき	きの、当該差異の原	
因となった主要な項目別の内訳		因となった主要な項目別の内訳		
法定実効税率	36. 2%	法定実効税率	36.2%	
(調整)		(調整)		
交際費等永久に損金に算入されない		交際費等永久に損金に算入されない		
受取配当金等永久に益金に算入され 項目	hない △1.5%	受取配当金等永久に益金に算入され 項目	れない △1.0%	
外国税額控除	△30.3%	外国税額控除	$\triangle 33.9\%$	
外国税	51.4%	外国税	52.4%	
評価性引当額変動	△1.1%	評価性引当額変動	2.7%	
その他	0.2%	その他	△0.3%	
税効果会計適用後の法人税等の負	担率 54.9%	税効果会計適用後の法人税等の負担	担率 56.1%	

## (1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
1株当たり純資産額	196, 436円16銭	227, 822円09銭
1株当たり当期純利益金額	26,717円47銭	36, 372円85銭
	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権付社債等の潜在株式の発行がないため記載しておりません。 平成16年5月18日付けで株式1株を3株とする株式分割を行っております。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前事業年度における1株当たり情報については、以下のとおりであります。 1株当たり純資産額 152,592円33銭 1株当たり当期純利益金額 15,986円65銭	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権付社債等の潜在株式の発行がないため記載しておりません。

# (注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
当期純利益(百万円)	50, 765	69, 927
普通株主に帰属しない金額(百万円)	98	98
(うち利益処分による役員賞与金)	(98)	(98)
普通株式に係る当期純利益(百万円)	50, 667	69, 829
期中平均株式数(千株)	1, 896	1, 919
普通株式	1, 896	1, 919
普通株式と同等の株式:甲種類株式	0	0

### (重要な後発事象)

前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) 当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

#### 石油公団保有当社株式の国への承継

当社主要株主であり、かつ、筆頭株主であった石油公団は、「石油公団法及び金属鉱業事業団法の廃止等に関する法律」(平成14年法律第93号)の施行に伴い、同法に基づき、平成17年4月1日付で解散し、その所有する当社普通株式692,307.75株および甲種類株式1株は同日をもって国たる経済産業大臣に承継されました。

#### 共同持株会社の設立

当社は、帝国石油㈱との間で共同持株会社を設立し、経営統合を行うことで合意し、平成17年11月5日に同社との間で共同株式移転契約を締結しました。その後、平成18年1月31日開催の両社臨時株主総会および当社甲種類株主総会で「株式移転による完全親会社設立の件」の承認を得て、同年4月3日をもって、当社および帝国石油㈱の完全親会社となる「国際石油開発帝石ホールディングス㈱」を設立いたしました。当社は同社設立をもって、同社の完全子会社となっております。

完全親会社の概要は、次のとおりです。

(平成18年4月3日現在)

商 号	国際石油開発帝石ホールディングス 株式会社
本店所在地	東京都渋谷区恵比寿四丁目1番18号
設立年月日	平成18年4月3日
事業内容	傘下子会社およびグループの経営管 理ならびにそれに付帯する業務
資 本 金	300億円
代 表 者	代表取締役社長 黒田 直樹

## VI. 役員の異動

該当事項はありません。